

西南学院大学 図書館報

マクロの世界からミクロの世界まで 大瀧順彦	2
楽しい読書を！……………宇都香織・瀧地豊子	3
卒論作成にあたって……………田部井孝次	4
参考図書の活用を期待します……………篠崎 珣	5
昭和63年度 図書館各種統計……………	6・7
お知らせ・報告……………	8
〈付録〉平成元年度指定図書目録	



私の学生時代と教科書

—かけうどんと清書屋—

商学部教授 高田 駒次郎

私が初めて西南学院の門をくぐったのは、昭和23年4月、当時の西南学院専門学校経済学科に入学した時である。以後、専門学校・大学を通じて5年間、西南の学生として青春時代を送った。その古き時代の特に入学当時の思い出話を現在の学生諸君に伝えることにする。

終戦が20年だから、入学当時はまだまだ物資不足の時代であった。昼食の一杯の「かけうどん」を校舎(丁度現在の本館と図書館辺りにあった)の地下の食堂(現在の生協食堂のようなもの)で食べようとしたら、2時限目の講義をさぼって並ばなければならなかった。なぜならば、当時の学生数830人分だけのうどん玉がなかったのである。その為真面目に講義を聞いた学生が食べられず、一人一杯確保の変な学生運動が起ったことがなつかしく思い出される。

このような時代であったから、当時の講義も非常に大変であった。何しろ、現在と違って教科書がないのである。したがって、英語は予習の関係上、教授がガリ版を使って鉄筆で蠟原紙に書いた英文を一枚一枚謄写版で印刷した紙を前もって受取り使用していた。この印刷は現在のコピーの前身ともいえるが、現在のコピーは原本を写真に撮り、自動的に何枚でもきれいにコピー出来るのでその苦労は比較にならない。しかしながら、その他の専門科目は教授があらかじめ準備してきた原稿を、講義時間に読み上げるのを学生がノートに書き写すのであった。私は42年4月に再び母校に帰り、以後教材に何

不自由なく講義しているが、当時の教授は非常に苦勞されていたことが今さらながら思い出されるのである。

さて、専門科目のノート書き写しには、更に裏話があるのである。講義時間はほとんどこの書き写しに費やされるので、学生は手がくたくたであり、教授同様学生も大変であった。しかも、自分で書いた字でありながら、字の下手な学生は後で読んでもわからないのである。

そこで登場するのが、「清書屋」というアルバイトである。すなわち、字の上手な学生が上述の英語の教授と同じように、鉄筆でもう一度きれいに清書し、謄写版で印刷し、それを字の下手な学生や講義をさぼった学生に売るのである。たしか一枚5円(上述のかけうどんも同じ5円)であったと記憶している。当時としては上等のアルバイトであった。私は講義をさぼって一杯5円のかけうどんを食べ、その為に一枚5円のプリントを購入した学生の一人であった。

最後になったが、当時の図書館は現在の高校の自転車置場のところにあった。蔵書約2万4千冊、席数60席、貸出図書一人2冊3日間、しかも、中・高・大学兼用の図書館であった。したがって、図書館で本を読んだり、貸出を受けるには、かけうどんを食べるのと同じく並ばなければならなかったのである。43年に建てられた現在の図書館の利用度はどうであろうか。一般に現在の学生は本を買わない、読まないと言われているが気になるところである。

(たかた こまじろう：会計監査論)

夏休みを前にして



マクロの世界からミクロの世界まで

文学部教授 大 瀬 順 彦

物理と言うと文系の諸君の中には、「身の毛もよだつ」なんて方も多いかも知れません。でも、ひとつ広い意味での物理に関する面白い本を読んで、夏の暑さを吹き飛ばしてはいかがでしょうか？ チャレンジ フィジックス！

まず初めに、物理の対象とする自然界の広がりを考えて見よう。その大きさは、大きな対象から見てみると、宇宙（ $\sim 10^{26}$ m）、銀河系（ $\sim 10^{21}$ m）から、地球（ $\sim 10^7$ m）、人間（ ~ 1 m）、細胞（ $\sim 10^{-3} \sim 10^{-6}$ m）、結晶（ $\sim 10^{-8}$ m）、原子、原子核、電子、素粒子、クォーク（ $\sim 10^{-15}$ m）までとなります。そこで、このようなマクロからミクロの世界までを手軽に読める文庫本を中心に紹介してみよう。

宇宙に関して、主として太陽系について現在どこまでわかっているのか？ どのような手段で、探求・探検が行なわれてきたのか、行なわれつつあるのか？ この疑問について解答を与える2冊の本を紹介しよう。カール・セーガン著：「COSMOS」（朝日文庫）と、中富信夫著：「太陽系グランドツアー（ボイジャー1・2号の旅）」（新潮文庫）です。「COSMOS」の中で、セーガンが「宇宙の中でユニークな存在である人類が、あるいは地球が核戦争により滅びることの無いように！」と呼びかけているのが印象的です。また、「太陽系グランドツアー」には、外惑星探査機ボイジャー1・2号による観測写真が沢山掲載されており、写真を眺めるだけでも宇宙への夢が広がる楽しい本です。なお、ボイジャー2号は現在も海王星へ向けて接

近中で、夏休み中の1989年8月24日に、海王星へ最接近する予定です。

地球に関しては、古典的名著である、コペルニクス著：「天体の回転について」（岩波文庫）を忘れるわけにはいかないでしょう。言わずと知れた、地動説の本です。地球自身、即ち地球物理に関しては、現在のプレートテクトニクス理論を予言していた、ヴェーゲナーの大陸移動説の本：「大陸と海洋の起源」（岩波文庫）をあげよう。

さて、ミクロの世界の結晶物理に関しては、雪の結晶を我国で初めて顕微鏡で観察した、土井利位の名著：「雪華図説正」+続「復刻版」小林禎作＝「雪華図説新考」（小林禎作著：築地書館）と、雪の結晶について図説した、鈴木牧之著：「北越雪譜」（岩波文庫）をあげよう。

最後に、更にミクロな電子や正孔（電子の抜け穴）が関与する超伝導の本をあげておこう。1986年の秋以来、大フィーバーとなった高温超伝導（体）について、そのフィーバーを生々しく伝えるブックレットとして、田中昭二・大山茂夫著：「超伝導の衝撃」（朝日ブックレット）がある。佐々木祥介著：「超流動・超伝導って何だろう」（ダイヤモンド社）、中嶋貞雄著：「超伝導」（岩波新書）および、大塚泰一郎著：「超伝導の世界」（講談社ブルーバックス）も、超伝導の入門書としてあげておこう。

以上の中から一冊でも読んでみて、フィジックスを味わってもらえれば幸いです。

（おおはま のぶこ：物理学）

夏休みを前にして

楽しい読書を…!!

文学部外国語学科3年
宇 都 香 織

私たちは生涯において、一体どれ程の知識を得るのでしょうか。アインシュタインでさえ、その脳のごく一部しか使わなかったと言います。とすれば、私たちはその何分の一くらい使ってこの世の出来事の何兆分の一も知ることができるのでしょうか。

私がこのような考えを持つようになったのは図書館の棚に並ぶ莫大な量の本を見た時からです。図書館にはclosedになっている物も合わせて、全部で約50万冊以上の本があるそうです。私がたとえその中のたった一冊の本を手にしてみても、その本の中身はほとんどはじめて目にする事ばかりです。図書館には私の知らない事が50万冊分あり、また世界にはそれ以上あるのです。その事に気付いた時、私の心の中には焦りと、そしてまた一種感動のようなものが同時に芽生えたのです。「知る」という事は何と素晴らしいことなのでしょう。

それまで読書嫌いだった私は、急に本を求め始めました。それは「義務感からくる読書」ではなく「心の欲するままの読書」へと変わっていったのです。

昨今学生の活字離れが問題とされています。それは本当に深刻な問題だと、私は今はっきりと思います。自分なりの意見を持つということは個人の存在価値に関わる程大切なことです。私たちはいろいろな知識を持ち合わせていることによって始めて、様々な問題に対する自分なりの批評ができるのではないのでしょうか。知識を増やすのに読書は最適の手段です。

皆さんは夏休みには本を5冊も借りることができるのをご存じでしょうか。図書館には私達が生まれるずっと以前に先輩方が手にされた本が

たくさんあります。また逆に誰からも借りられることなく真白なままの本もたくさんあります。飾ってあるだけなんて本当にもったいないですよ。皆さんも夏休みを良い機会としてどんどん本を借りましょう。そして一つでも多くこの西南の図書館にご自分の名前を残してみたいかがでしょうか。(うと かおり)

法学部法律学科3年

瀨 地 豊 子

いよいよ夏休み、旅行シーズンの到来だ。私は旅が大好きだ。特に、どこへ行くともなしに足の向くまま気の向くまま、といった旅が。

今年の夏は、「本を読むための旅」というのもいいなと思っている。もともと私は、あまり読書といったものは好きではない。読書は、自分を時間的、空間的に束縛するからだ。そこでこの束縛的な読書を逆転させてみるのもいいなと思ったのだ。つまり、解放的に読書を楽しむのだ。出発前に、あらかじめとりあわせをよく考えて、ふらっとどこかへ行く。面白そうな本を買っては、あちこちを転々としながら行くのもいい。いつも、部屋にこもってやっていた読書が、公園、コーヒーショップ…と違った雰囲気醸し出す。ただの観光と、本を読むための旅行とでは、その場所の感触も違ってくるだろう。また、どこかで夢中で本を読んで、もとの場所へ帰ってくると、自分が違った人のように感じるかもしれない。

本の魅力は、自分にとって全く未知な世界に、自分というボールを壁打ちのようにぶつけながら、自らの存在を確かめ、クリエイティブしていきるところだと思う。

大学生活三度目の夏休み、この辺で自分を振り返り、クリエイティブしてみるのもいい。

(はまち とよこ)

卒論作成にあたって

文学部助教授 田部井孝次

卒論を書くことになっている4年生は、すでに卒論題目も決まり、これからいかに卒論を仕上げてゆくか頭を悩ましていることと思います。そこで卒論作成にあたって是非知っておいてもらいたいことを述べてみたいと思います。

言うまでもなく、卒論はいわゆる論文であって感想文ではありません。当り前のことです。要は感想文ではなく論文を書けばよいわけです。仕事柄文学の話になりますが、例えば『トム・ソーヤの冒険』を読んでおもしろかったという感想をもったとします。何故か。おもしろいからおもしろい。これでは感想文の域を出ません。夏目漱石はこれを「鑑賞的」態度と言っていますが、もとより論文を書く態度ではありません。おもしろいからおもしろいでは誰も納得しません。何故おもしろいのか納得がいくように説明する必要があります。論文を書くうえで最も重要なことのひとつはこの説得力なのです。

「説明されない美は私をいらだたせる」と言った学者がいます。美しさというものを説明することは至難のわざです。もしかすると不可能なことも思われます。しかし少なくとも文学に関する論文を書こうとする者にとっては、それは避けられない仕事のはずです。おもしろい、美しいという本来無形のものを有形化するというのが論文を書く者の使命のようにも思われます。「寒熱は一種の感覚であるのを説明するために寒暖計の度数で示すようにしなければならぬ」というわけです。

つまり、論文を書く態度は科学的でなければならないということでしょうか。ですから当然分析（あるいは分解といってもよいでしょう）と総合という手順を踏むことになります。ある作品の構造、組織、内容などを、科学者のように冷静に分解し緻密に組み立てて充分説得力をもつひとつの説を、いわば法則を打ち立てるわけです。この「非鑑賞的」または「批評的」態度が論文を説得力あるものにすると言ってもよいでしょう。

卒論の形式について一言触れておきます。履修規程の卒論に関する条項（第6条、第8条）は当然目を通してあるものとして、その他の問題、例えば目次はどうするのか、章分けはどうするのか、参考文献は、注は、といった具体的な問題があります。指導教授に相談するのは当然のこととして、幾つかの出版社から論文の手引書が出ていますから目を通しておくといでしょう。また、英語論文を書く学生にとってMLA論文様式は知っておかなければならないものです。

400字詰原稿用紙40枚以上、外国語の場合は5,000語内外というのは、書き慣れていない者にとっては大変な量です。短時間でできるものではありません。すでに取り掛かっている学生もいるでしょうが、地道にこつこつと時間をかけて仕上げるのが肝要です。説得力のある卒論を期待しています。

（たべい こうじ：アメリカ文学）

参考図書の活用を期待します

レファレンス・ツールの例

情報サービス課長 篠崎 珣

図書館の業務の一つに参考業務（レファレンス）があります。昔の図書館はいわば図書を集めるのが主要な使命でしたが、膨大な資料、情報が氾濫する現代では、研究者が自らの手によって必要な研究資料を探し出すことさえ非常に難しくなっています。ですから、近代図書館は利用指導や情報提供が大きな役割となっていくのです。そこで今号では身近なレファレンス・ツールを紹介します。

☆ ☆ ☆

各閲覧室の、年鑑、百科事典、白書など、これもツールです。これら以外には皆さんは余り目に触れることはありませんが情報サービス課にはレファレンス・コレクションというものがあります。これはレファレンス・サービスを行なうための、「虎の巻」とでも言うべきものです。これらをいかにうまく使いこなすかが有能なレファレンス・ライブラリアンの腕の見せ所と言うところでしょう。

☆ ☆ ☆

5月、文学部F教授から米国のLondon, Jack (1876~1916)に関する日本国内の文献や研究者を調べてほしいとの依頼がありました。氏名と国籍以外の情報はなく、「西洋人物レファレンス事典」で、生没年と社会主義作家であることが分かったのでメモしておきました。次に「目録」を調べましたところ本館には2点しか所蔵が見当たりません。

昭和23年度分からの情報をまとめた「雑誌記

事索引」（人文・社会編、文学語学）のアメリカ文学、作家論、作品論—では、見事に1点もみつかりませんでした。サリンジャーやスタンベックはたくさんありました。

“NATIONAL UNION CATALOG”には彼の著作は気が遠くなるほどたくさん紹介されていますし、本館にも2点の図書があるので、彼の没後73年、日本に研究者がいないはずないと思い、「英米文学研究文献要覧」のアメリカ文学の項を調べましたところ、いくつかの大学の論集・紀要に研究発表された論文と図書が10数点判明しました。これを再び「目録」によって調べましたところ、数点を除く殆どを本館で所蔵していることもわかりました。（ある程度の遠回りは止むを得ないと思っています）

☆ ☆ ☆

以上は本館でできる簡単な例ですが、経営学、経済学、法学等の分野でも、あるいは図書に限らず雑誌についても特定の主題に関する情報をほぼ同じようなツールで調べることができる場合が少なくありません。国立国会図書館や学術情報センターに照会して、さらに豊富な情報を取得することも可能です。卒業論文を始め、専攻分野に関する調査、資料収集に臨んで行き詰まったときは、遠慮なく相談してみてください。図書館員も決して経験豊かなレファレンス・ライブラリアンばかりではありませんが、皆さんとともに勉強のつもりで努力してみたいと思っています。（しのざき じゅん）

昭和63年度 図書館各種統計

●どんな内容のものがどれだけ増加したか。

○図 書

(単位:冊)

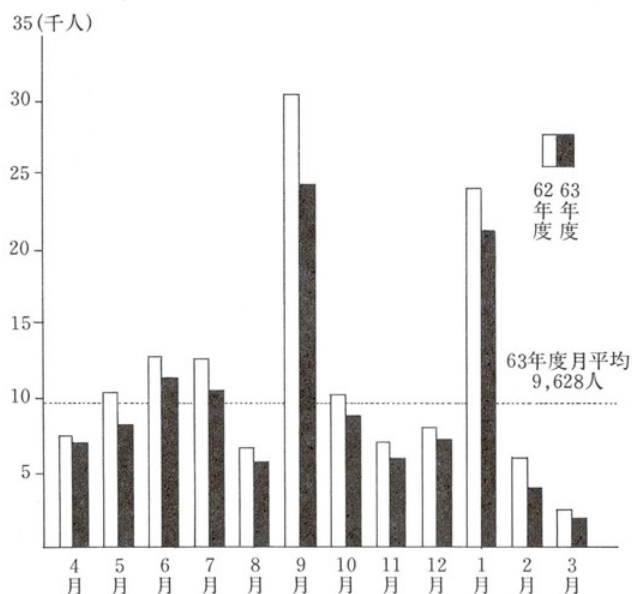
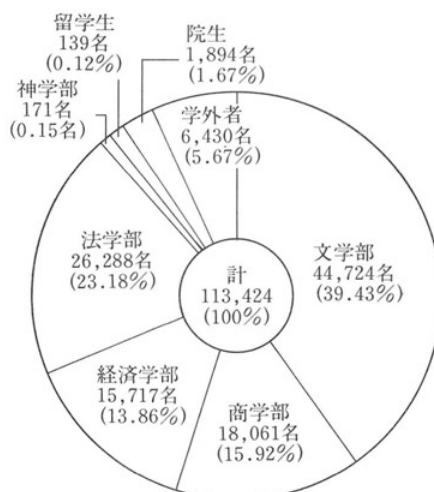
分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
区分	総 記	哲 学	歴 史	社会科学	自然科学	工 学	産 業	芸 術	語 学	文 学	
和 書	686	1,114	1,100	6,596	995	590	873	874	416	1,410	14,654
洋 書	468	721	394	3,471	590	58	484	235	596	1,907	8,924
計	1,154	1,835	1,494	10,067	1,585	648	1,357	1,109	1,012	3,317	23,578
62年度 和洋合計	1,268	1,567	1,381	8,079	1,256	575	995	902	1,313	2,886	20,222

○視聴覚資料

レコード	テープ	マイクロ フィルム	マイクロ フィッシュ	フィルム	スライド	絵 話	フロッピー ディスク	マグネチック テープ	ビデオ テープ	コンパクト ディスク	計
13枚	21リール	174リール	0点	16ミリ 2本	0本	0点	37枚	2点	86巻	1枚	336件

●この2年間にどれだけ利用されたか。

○入館者数(月別)

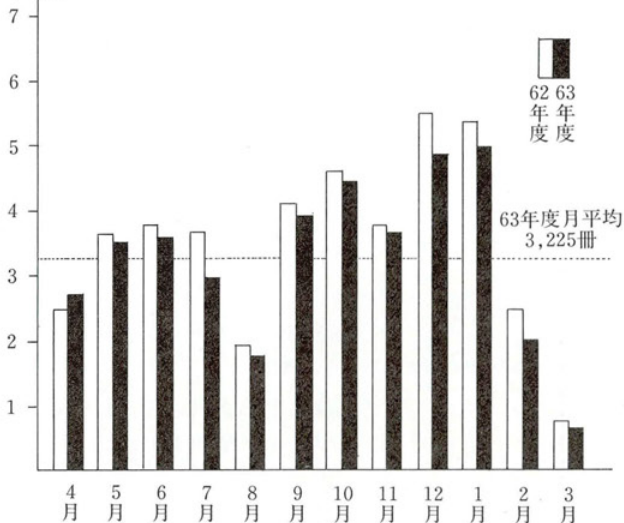
○学部別入館者数(割合)
(教員を除く)

年度	合 計	1日平均
62	134,239人	485人
63	115,532人	420人

(62年度 開館日数 277日)
(63年度 開館日数 275日)

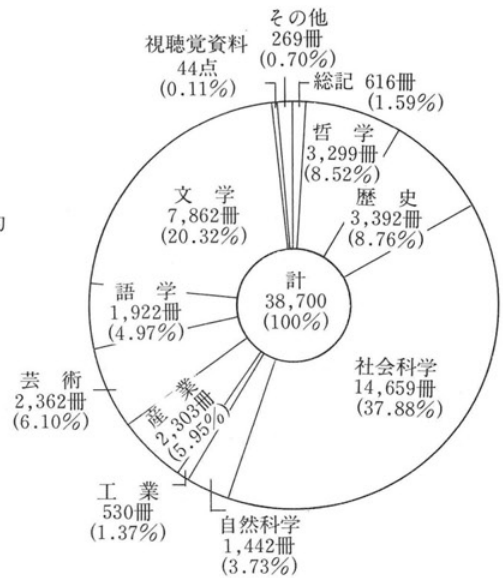
○館外貸出冊数

(千冊)



年度	合 計	1 日平均
62	41,284冊	149冊
63	38,700冊	141冊

○主題別貸出冊数 (割合)

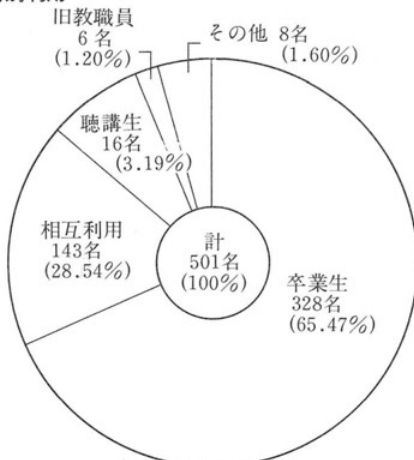


●その他の利用統計

○文献複写

利用者	種別	電 子 複 写		マイクロフィルムからの引伸		マイクロフィッシュ	
学 内	教員	1,157件	31,495枚	27件	1,005件	2 件	494枚
	学生	4,259	42,894	0	0	0	0
学 外		763	17,758	14	455	0	0
合 計		6,179	92,147	41	1,460	2	494

○特別利用



(特別利用者501名の内訳)

○他大学図書館へ本学学生の相互利用希望	54件 (34)
○視聴覚機器貸出	0件 (0)
○学生の図書購入希望	111件 (110)
○投 書	3件 (2)
○紛失弁償図書冊数	86冊 (14)
○閉架図書閲覧件数	2,766件 (3,404)
内 訳	
卒業論文	120件 (235)
図 書	1,242件 (1,446)
レコード	57件 (139)
新聞・雑誌	1,347件 (1,583)
紙 芝 居	0件 (0)

※ ()内は62年度

図書分類番号の一部変更について(お知らせ)

本年4月以降に整理・配架した図書から「日本十進分類法第8版」に変更して分類を行っています。従来の第6版と基本的には同じですが、一部の分類番号(請求番号)が変わりますのでご承知下さい。主な変更項目は、労働法、事務

管理、事務機械(コンピュータソフト関係)、情報科学、社会思想・社会主義、公害・環境工学、会計・簿記、英・米文学などです。

なお、この分類法変更に伴い、図書ラベルの色も和書は茶色、洋書は空色に変更しています。

お知らせ

○夏季休暇中の長期貸出

7月1日(土)より。

貸出対象は学部学生、専攻科生、大学院生で、冊数は5冊以内(大学院生は20冊まで)。返却期限は9月18日(月)。

○夏季休暇中の開館および休館

開館 日曜日を除く毎日9:15~21:00

休館 7月25日(火)、26日(水)は職員夏期修養会のため。

8月14日(月)、15日(火)は夏季特別一斉休暇のため。

1階学習室は休暇中閉室。

○卒業年次生のための特別利用

①貸出

卒論作成のための貸出があります。通常の貸出のほかに3冊以内、1か月間利用することができます。また、修士・博士論文作成のため、通常の貸出のほかに5冊以内、2か月間利用することができます。ともにグリーンの卒論用帯出証で利用します。

②先輩の卒業論文の閲覧

卒論作成の参考に諸先輩の卒論を閲覧することができます。

①、②いずれもゼミ担当教授の承認を得なければなりませんので、希望者はあらかじめ受付に申し出て用紙の交付をうけてください。

②図書館職員の人事異動について

③平成元年度新規購入雑誌について

④昭和63年度在庫調査の結果について

⑤貸出中の図書の確認について

⑥平成元年度私大助成の申請について

⑦昭和63年度図書館決算について

⑧平成元年度図書館補正予算の申請について

⑨平成元年度共通研究図書費、一般図書費および新聞雑誌費の配分について

1. 4. 26 ①私大助成申請ならびに高額図書購入申込みについて

②平成元年度共通研究図書費および新聞雑誌費の調整配分について

〈研修・出張〉

○平成元年度第一回私立大学図書館協会西地区部会

1. 4. 20 於：北九州市
堤事務次長、篠崎課長出席

○第40回九州地区大学図書館協議会総会

1. 4. 21 於：北九州市
堤事務次長、篠崎課長出席

○平成元年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会

1. 5. 18 於：産業医科大学
篠崎課長、田代課長補佐出席

○第10回EDCセミナー

1. 5. 25~26 於：神戸商科大学
篠崎課長、古庄司書出席

☆ 報 告 ☆

〈図書館委員会〉

1. 4. 17 ①図書館業務電算化によるシステムの一部稼動について

平成元年度 指定図書目録

(Reserved Books)

指定図書とは、講義担当の先生方が、その講義に直接関係して学生に必ず参考にしてもらいたい図書を指定されたものです。年間を通じて2階閲覧室に備えています。なお、講義区分は学生便覧を参考にしました。

一般教育科目

後 藤 新 治<美術史>

近代芸術の革命 H.ゼーデルマイヤ 美術出版社
現代美術の歴史 S.ハンター 美術出版社
20世紀美術 N.スタンゴス パルコ出版
現代の美術 E.ルーシー＝スミス 講談社
反美学 H.フォスター 勁草書房

菱 谷 晋 介<心理学(1)・(2)>

心のプリズム 朝日新聞科学部 朝日新聞社
地平の月なぜ大きいのか 苧阪 講談社
「心」とは何か 高橋 講談社
問題解決の心理学 安西 中央公論社
認知科学 大島 新曜社

久 屋 孝 夫<英語ウ>

女のことは男のことは 井出祥子 日本経済通信社
国語辞典にみる女性差別 ことばと女を考える会 三一書房
女という快樂 上野千鶴子 勁草書房
セックス神話解体新書 小倉千加子 学陽書房
A Feminist Dictionary

C.Kramarae/P.A.Treichler Pandora

<英語カ>

英語を知る辞典 A.Room 研究社
イギリス現代史 松浦高嶺 山川出版社
世紀末までの大英帝国 長島伸一 法政大学出版局
イギリスと日本(正・続) 森嶋通夫 岩波書店
イギリス史 大野真弓 山川出版社

松 原 宏<人文地理学>

都市と経済のニュートレンド 宮尾尊弘 日本評論社
東京プロブレム 日本経済新聞社 日本経済新聞社
都市開発のターニングポイント 月尾嘉男 東洋経済新報社

地域の概念と地域構造 朝野洋一(他) 大明堂
最近の地理学 坂本英夫 大明堂

森 泰 男<キリスト教学II>

教義学 H.オット ヨルダン社
フロイトと神 H.キュング 教文館
二十世紀神学の展望 J.モルトマン 新教出版社
現代に生きる思想 池 明観 新教出版社
現代思想の中の神 小田垣雅也 新地書房
<キリスト教学III>

カミュ＝グルニエ往復書簡 カミュ・グルニエ 国文社
詳伝シモーン・ヴェイユ(I・II) S.ペトルマン 勁草書房
パスカルとサド 佐々木陽太郎 教文館
聖フランチェスコの小さな花 フランチェスコ 教文館

ジイド ヴィエ, J. ヨルダン社
<キリスト教学IV>
死と生を考える 村上 伸 ヨルダン社
ボンヘッフアー獄中書簡集 E.ベートゲ 新教出版社
和解論VI(断片) K.バルト 新教出版社
生命科学与キリスト教(全5巻)

日本基督教団出版局

働くことと愛すること D.ゼレ 日本基督教団出版局
<ラテン語中級>

カエサル文集 カエサル 筑摩書房
アペラール 柏木英彦 創文社
ギリシア・ラテン引用語辞典 田中秀夫(他) 岩波書店
ローマ人の国家と国家思想 E.マイヤー 岩波書店
De bello gallico Caesar Oxford Classical Texts

大 濱 順 彦<物理学>

物理学への招待 大槻義彦 培風館
教養の物理(車で学ぶ力学と熱力学) 宮垣盛男 裳華房
身近な教養物理 小暮陽三 森北出版

- 物理学 阿部龍蔵／川村 清 サイエンス社
新／BASICによる物理 平田邦男 共立出版
- L. K. シーフト＜キリスト教学II＞
キリスト教概論 熊谷／深町 新教出版社
現代に生きる人間 森野善右衛門 新教出版社
- 関 谷 定 夫＜キリスト教学＞
図説旧約聖書の考古学 ヨルダン社
図説新約聖書の考古学 講談社
- 田 村 茂 夫＜法 学＞
法の世界(全3冊) モンテスキュー 岩波書店
「科学としての法律学」とその発展 川島武宜 岩波書店
日常世界の法構造 矢崎光圀 みすず書房
法社会学の基礎理論 エールリッヒ みすず書房
法律的論理 エールリッヒ みすず書房
- 山 崎 喜代子＜生物学＞
細胞の生物学 ワトソン 教育社
DNA学のすすめ 柳田充弘 講談社
がん細胞の誕生 黒木登志夫 朝日新聞社
生命の起源 原田 肇 東大出版会
免疫学への招待 Staines, N. (他) 南江堂
- 吉 岡 慎 一＜経済学A＞
経済学の考え方 宇沢弘文 岩波書店
エネルギーとエントロピーの経済学 室田 武 東洋経済新報社
マイナス成長の経済学 室田 武 農文協
生命系のエコノミー 玉野井芳郎 新評論
経済学は現実にこたえうか 伊東光晴 岩波書店

文 学 部 (英語・英文)

- 古 屋 靖 二＜イギリス文学史＞
The Oxford Anthology of English Literature
Vol. I・II Oxford U.P.
イギリス文学史 齋藤 勇 研究社
研究社英米文学辞典(第三版) 齋藤 勇 研究社
＜英米文学講読(劇)＞
シェイクスピアの祝祭喜劇 Barber 白水社
シェイクスピア：初期の喜劇 Traversi 研究社
イリュージョンの力 Righter 朝日出版

安 徳 典 光＜英文法＞

- The Student's Grammar of English
EK, J.A. van / Robot, N.J. Basil Blackwell
The Grammar Handbook Feigenbaum, I. OUP
Introduction to the Grammar of English
Huddleston, R. CUP
International English Usage
Todd, L. / Hancock, I. Croom Helm
＜英作文＞
Longman Dictionary of Common Errors
J.B. Heaton / N.D. Turton Longman
Dictionary of American English Usage
Nicholson Oxford U.P.
A Comprehensive Guide to English Usage and
Abusage 荒木一雄 研究社
A guide to the Language I.C.B. Dear Oxford U.P.

泉 マ ス 子＜コミュニケーション概論＞

- The Functions of Human Communication
Frank Dance (他) Holt, Rinehart & Winston
異文化とコミュニケーション プロッサー 東海大出版会
日本人の表現構造 バーンランド サイマル出版会
国際関係におけるコミュニケーション 岡部朗一 東海大出版会
文化とコミュニケーション 加藤秀俊 思索社
Nonverbal Communication in Human Interaction
Knapp, M. Holt, Rinehart & Winston
＜スピーチA＞
Speech Behavior & Human Interaction
Borden (他) Prentice-Hall
Speech Communication and Human Interaction
Scheidel Prentice-Hall
＜スピーチB＞
Improving Oral English through Choral Speaking
Larson 学書房
The Bases of Oral Interpretation ワグナー／川島 三修社
Basic Oral Communication Rich / Capp Jr. Prentice-Hall
ことばの美学 ヴァノン・リー 大修館
＜演 習＞
日本人英語の科学 竹蓋幸生 研究社
英語のリスニング 吉田一衛 大修館
Listening & Speaking－新しい考え方 河野守夫 山口書店

久 屋 孝 夫<英文法>

日本人の英語 マーク・ピーターセン 岩波書店
 外国語上達法 千野栄一 岩波書店
 日本語の構造 中島文雄 岩波書店
 日本語 新版(上・下) 金田一春彦 岩波書店
 <英語学特殊講義>

思考と行動における言語 S.I.ハヤカワ 岩波書店
 軍事化から非軍事化へ グレン・D.フック

お茶の水書房

アメリカ英語の婉曲語法 國弘正雄 ELEC出版部
 <演 習>

図説英語史入門 中尾俊夫 大修館
 様々な英語 小林素文 研究社

<英語科教育法>

英語はどんな言語か 中村 敬 三省堂
 人生読本・外国語 D.ラミス(他) 河出書房新社
 「英会話」私情 富岡多恵子 日本ブリタニカ
 新英語教育講座 三友社

宮 原 哲<コミュニケーション特殊講義>

コミュニケーションの社会心理学 水原泰介(他)
 東大出版会
 人間関係入門 安藤延男 ナカニシヤ出版
 異文化適応行動論 西田 司 高文堂出版社
 Communicative Styles of Japanese and Americans
 Barnlund, Dean C. Wadsworth
 <演 習>

Intercultural Communication : A Reader (5th ed.)
 Samovar, L.A.(他) Wadsworth

大 橋 浩<英文法>

講座学校英文法の基礎 4.動詞(I)・5.動詞(II)
 大江三郎 研究社
 講座学校英文法の基礎 8.文(II) 村田勇三郎
 研究社
 橋渡し英文法 毛利可信 大修館
 意味と英語動詞 G.リーチ 大修館
 <演 習>
 現代英文法事典 安井 稔 大修館
 A Comprehensive Grammar of the English
 Language R.Quirk (他) Longman
 Practical English Usage M.Swan Oxford

文 学 部 (フランス語)

中 村 栄 子<フランス文学講義>

フランス文学講義 I~III 篠沢秀夫 大修館
 フランス文学史 饗庭孝男(他) 白水社
 欧米文芸登場人物事典 中村栄子 大修館
 <フランス語作文>
 D.S.F. フランス語法辞典 西村/尾上 白水社

文 学 部 (児童教育)

藤 野 力<数学概論>

コンピュータ入門 全6巻 土居範久(他)
 岩波書店
 花のCG 戸川隼人 サイエンス社
 TURBO PASCAL Ver.4 小林倅史 JICC出版局
 PC-9800シリーズ VM/VX/XL BASIC 戸川隼人
 サイエンス社
 BASIC 改訂版 刀根 薫 培風館

藤 田 尚 充<教育学>

稚の木学校-『児童の村』物語 宇佐美 承 新潮社
 どの子も100点をとる権利がある 村田栄一
 主婦と生活社
 人間ってすごいね先生 久津見宣子 授業を創る社
 <社会科総論><社会科教育法>
 社会科教育実践の歴史-小学校編, 中学・高校編
 民教連社会科研究委員会 あゆみ出版
 ポイント教育学-社会科教育
 柴田義松/白井嘉一 学文社
 問題解決学習の社会科授業-初志の会30年の理論
 と実践 社会科の初志をつらぬく会 明治図書
 社会科教育の理論 教科研社会科部会 麦書房
 <社会教材研究>
 子どもと学ぶ歴史の授業 安井俊夫 地歴社
 発言をひき出す社会科の授業 安井俊夫 日本書籍
 川口港から外港へ 鈴木正気 草土文化
 人間とは何か・ものをつくる授業 白井春男
 太郎次郎社
 社会を見なおすメガネ-量率グラフで見る日本
 松崎重広 国土社

菱 谷 晋 介<心理学測定法 I・II>

科学の中の統計学 赤池 講談社
 調査の科学 林 講談社
 推計学のすすめ 佐藤 講談社
 複雑さに挑む科学 柳井/岩坪 講談社
 心理学小実験 宮沢(他) 協同出版

<教育心理学II>

学習と教授の心理学 山内 九大出版会
 教育心理学入門 安藤 福村出版
 入門教育心理学 波多野 (他) 有斐閣
 教育心理学の基礎知識 河合 (他) 福村出版
 目でみる教育心理学 西山 (他) ナカニシヤ出版

<演習>

空間のエコロジー 加藤 新曜社
 イメージの基礎心理学 水島 (他) 誠信書房
 心像表象の心理 北村 誠信書房
 認知心理学概論 J.R.アンダーソン 誠信書房
 視覚の情報処理 K.T.スペアー (他) サイエンス社

大 演 順 彦<物理学概論>

超伝導 中嶋貞雄 岩波書店
 超伝導の世界 大塚泰一郎 講談社
 マンガ超伝導講座 石ノ森章太郎 講談社
 セミナー高温超伝導 福山 (他) 丸善
 超伝導のすべて 通産省工業技術院 丸善

<理科概論>

ハテナ? ナルホド実験室 Quark 講談社
 生活の中の物理 藤城敏幸 東京教学社

<演習>

超流動・超伝導って何だろう 佐々木祥介
 ダイヤモンド社
 超伝導とは何か 田中 (他) 日本経済新聞社
 超伝導最前線 日刊工業新聞科学技術部 日刊工業
 超伝導セラミックス 長谷川 (他) 工業調査会
 超伝導革命 牧野 昇 日本実業出版社

<情報処理基礎III><情報処理基礎>

文科系のコンピュータ 応用編 真鍋 (他) 岩波書店
 文科系のコンピュータ 入門編 高森/大島 岩波書店
 文科系のコンピュータ 環境編 廣瀬/有沢 岩波書店
 涙なしの統計学 D.ロウントリー 啓明社
 Statistics Without Tears Derek Rowntree
 Penguin Book

堺 太 郎<児童福祉学概論>

児童福祉 井上 肇 (他) 福村出版
 児童福祉を考える 高橋重宏 (他) 川島書店
 児童福祉 (第2版) 井垣章二 ミネルヴァ書房
 入門児童福祉 井垣章二 (他) ミネルヴァ書房
 アメリカの家族・日本の家族 増田光吉
 日本放送出版協会

<社会福祉学>

社会福祉を考える 高橋重宏 (他) 川島書店
 現代の社会福祉 I・II 一番ヶ瀬康子 (他) ミネルヴァ書房
 現代社会福祉事典 仲村優一 (他) 全社協出版
 福祉の思想 糸賀一雄 日本放送出版協会

<社会福祉方法論>

社会福祉実践の方法 高橋重宏 (他) 川島書店
 ソーシャルワークを考える 高橋重宏 (他) 川島書店
 ソーシャルワークの基礎 吉沢英子 相川書房
 日本のケースワーク 松本武子 家政教育社
 日本人の福祉 若城希伊子 日本放送出版協会

<演習>

障害者の教育と福祉入門 津曲裕次 川島書店
 障害者教育史 津曲裕次 (他) 川島書店
 障害者福祉への視座 吉本充賜 ミネルヴァ書房
 障害児教育概論 田中美郷 川島書店
 いま障害児福祉は 大野智也 ぶどう社

山 崎 喜代子<理科教材研究>

生物の実験法 I・II・III 宇津木 (他) 培風館
 小学校理科指導資料 観察と実験の指導 文部省
 大日本図書
 虫の観察学 海野和男 講談社
 四季の森林 沼田 真 地人書館
 生物学 石川 統 裳華房

<保育内容自然>

乳幼児の自然指導 南川 幸 北大路書房
 新保育内容「自然」 高杉自子 光生館
 「ヒト」に成る 小原秀雄 大月書店
 自然の中のあそび 稲津厚生 図書印刷
 子供と自然と発達と 近藤薫樹 あゆみ出版

文学部 (国際文化)

後 藤 新 治<地域文化概論>

カテドラル D.マコーレイ 岩波書店
 フランス中世美術の旅 黒江光彦 新潮社
 西欧の芸術:ゴシック (上・下) H.フォション
 鹿島出版会
 ゴシックの大聖堂 O.フォン・シムソン
 みすず書房
 ゴシック建築とスコラ学 E.パノフスキー 平凡社

<西洋美術史>

ケンブリッジ西洋美術の流れ (全8冊) 岩波書店
 美術の歩み (上・下) E.H.ゴンブリッチ 美術出版社
 美術の歴史 H.ジャンソン 創元社

西洋美術史への視座 新田博衛
 形象と時間 谷川 渥

勁草書房
 白水社

平野 正<東洋史学>

中国抗日戦争史 石島紀之 青木書店
 十五年戦争史(全4巻) 藤原/今井 青木書店
 太平洋戦争史論 藤原 彰 青木書店
 北京一二・九学生運動 平野 正 研文出版
 日中戦争 古屋哲夫 岩波書店

<中国近代史>

中国第三勢力史論 菊池貴晴 汲古書院
 中国民主同盟の研究 平野 正 研文出版
 中国国民政府史研究 中国現代史研究会 汲古書院
 抗日戦争と中国民衆 池田 誠 法律文化社

森 泰 男<西洋中世哲学思想>

十二世紀ルネサンス ハスキンス 創文社
 <無限>の思惟 蘭田 担 創文社
 中世における自由と超越 K. リーゼンフーバー 創文社

ドイツ神秘主義研究 上田閑照 創文社
 中世個体論研究 真方敬道 南窓社

<文献講読II>

神曲(全3巻) ダンテ 集英社
 ダンテ神曲解説 里見安吉 山本書店
 ダンテ研究 岩倉具忠 創文社
 ペトラルカ研究 近藤恒一 創文社
 イタリアのヒューマニズム ガレン 創文社

<地域文化概論II>

ヨーロッパの祭と伝承 植田重雄 早大出版部
 ヨーロッパの形成 C. ドーソン 創文社
 ヨーロッパ世界の誕生 H. ピレンス 創文社
 地域研究の現在 中嶋嶺雄(他) 大修館
 近代の終末 ヴァルディエニ 創文社

大辻 千恵子<現代アメリカ論>

総合研究アメリカ⑤ 研究社
 原典アメリカ史 第7巻 岩波書店

斎藤 末 弘<演習>

太宰治と聖書 佐古純一郎 教文館
 椎名麟三の文学 斎藤末弘 桜楓社
 椎名麟三・遠藤周作(鑑賞日本現代文学25) 角川書店
 佐藤泰正 角川書店
 作品論 椎名麟三 斎藤末弘 桜楓社

商学部

古林 輝 久<経営労務論>

仕事 今村仁司 弘文堂
 労働と労働者の歴史 G. ルフラン 芸立出版
 ヒューマンウェアの経済学 島田晴雄 岩波書店
 文化としての技術 佐和隆光 岩波書店
 組織認識論 加護野忠男 千倉書房
 自己組織性 今田高俊 文眞堂
 <労務管理論>

日本的経営の人事戦略 津田眞徴 同文館
 日本的経営の労務管理 田中博秀 同文館
 経営組織と環境適応 岸田民樹 三嶺書房
 ME技術革新下の日本的経営 奥林康司 中央経済社
 組織の理論と日本的経営 植村省三 文眞堂

糸園 辰 雄<中小企業論>

技術革新と企業成長 岩田 勲 中央経済社
 現代地場産業論 下平尾勲 新評論社
 現代伝統産業の研究 下平尾勲 新評論社
 <商業総論>
 現代資本主義と流通 糸園辰雄 ミネルヴァ書房
 転換期の流通経済 第1巻小売業編・第2巻卸売業編
 ・第3巻マーケティング編 糸園(他) 大月書店

小森 俊 介<広告論>

マーケティング管理の発展史 光澤滋朗 同文館
 コミュニケーション的行為の理論(上・中・下)
 ユルゲ・ハーバーマス 未来社
 人間の現象としての科学(上・下)
 V. F. トウルチン 岩波書店
 情報革命時代の経済学 竹内 啓 岩波書店
 意味と情報 竹内 啓 東大出版会

<マーケティング論>

コンシューマリズム アーカー・ディ 千倉書房
 競争と企業家精神 M. ガーズナー 千倉書房
 小売市場の経済分析 桑原秀史 千倉書房
 現代マーケティング・コミュニケーション
 武井 寿 白桃書房
 競争と革新—自動車産業の企業成長

加護野忠男(他) 東洋経済新報社

<基礎演習(21前)>

世界大恐慌の分析 平田喜彦(他) 有斐閣
 大不況の世界1929-1939 C. P. キンドルバーガー 東大出版会
 ニュー・ディールとアメリカ民主政 久保文明 東大出版会

大恐慌とアメリカ財政政策の展開 平井規之
岩波書店
大恐慌とニュー・ディール財政 土生芳人
東大出版会

<基礎演習 (24) >

ヘッジ・オペレーション 多田克己 有斐閣
オプション理論と応用 大村敬一
東洋経済新報社
商学通論 久保村隆祐 同文館
コンフリクトの数理 岡田憲夫 (他)
現代数学社

<外書講読II>

史的システムとしての資本主義 I. ウォーラスティン
岩波書店
意思決定支援システム 広内哲夫 (他)
竹内書店新社
多国籍企業経営とEC会社法指令 加藤恭彦
同文館
エクセレント・カンパニー T. J. ピーターズ (他)
講談社
ウィニング・パフォーマンス D. K. クリフォード
プレジデント社

<演習I>

アメリカ流通業のすべて 西村 哲 有斐閣
経営学講座 ゲイトン・E. ジャーメイン
TBSブリタニカ
法と社会の昭和史 渡辺洋三 岩波書店
昭和経済史 中村隆英 岩波書店
日本のマーケティング戦略1988

日本マーケティング研究所出版事業部

<演習II>

戦後日本の産業政策 鶴田俊正 日本経済新聞社
新産業論 日本経済新聞社 日本経済新聞社
日本の経済 日本経済新聞社 日本経済新聞社
日本の産業 日本経済新聞社 日本経済新聞社
日本の会社 日本経済新聞社 日本経済新聞社

大矢 繁 夫<証券論>

国際金融市場 (新版) 竹内/原 有斐閣
第三の証券市場 浜田康行 東洋経済新報社
世界経済論 村岡俊三 有斐閣
商業資本と経済学 鶴野昌孝 梓出版社
貨幣・信用・中央銀行 楊枝嗣朗 同文館

<演習I><演習II>

世界恐慌 ジョン・A. ギャラティ
TBSブリタニカ
金融恐慌・大不況・銀行経営 保坂直達 有斐閣

世界市場と信用 海保/居城 (他) 梓出版社
基軸通貨の交替とドル 山本栄治 有斐閣
世界マネーフロー 中尾茂夫 同文館

辻 和 夫<交通論>

道路貨物輸送 村尾 賢 晃洋書房
国有鉄道 中西健一 晃洋書房
都市交通 角本良平 晃洋書房
海運 宮下国生 晃洋書房
市民と交通 広岡治哉 有斐閣

<公企業論>

現代日本の公益企業 関島久雄 日本経済評論社
公共交通の経済学 C. A. ナッシュ 千倉書房
民営化の世界的潮流 T. ティーマイヤー/
G. クォーデン 御茶の水書房
現代公企業論 一瀬智司 東洋経済新報社
現代公益企業論 佐々木 弘 白桃書房

吉 武 春 光<情報科学>

教養のための情報科学入門 中村義作/清水道夫
近代科学社
コンピューター 虫辞林 高橋亮一 サイエンス社
情報科学—パソコンと人工知能 柏原恒博

共立出版

経営情報学のための線型代数 石原辰雄

共立出版

情報工学基礎講座 1 情報基礎論 長尾 真/
淵 一博 オーム社

<外書講読II>

コンピュータ言語学入門 草薙 裕 大修館
自然言語処理入門 西田豊明 オーム社
LISPによる自然言語処理 草薙 裕 工学図書

<情報処理応用>

LISP ウィンストン・ホーン 培風館
コンピュータ言語学入門 草薙 裕 大修館
LISPによる自然言語処理 草薙 裕 工学図書
これがLISPだ! アンダーソン サイエンス社
入門LISP S. C. シャピロ 啓学出版

<演習I>

これがLISPだ! アンダーソン サイエンス社
入門LISP S. C. シャピロ 啓学出版
LISP ウィンストン・ホーン 培風館
Common Lisp入門 湯浅太一/萩谷昌巳

岩波書店

Common Lispドリル 湯浅太一 岩波書店

<演習II>

LISPによる自然言語処理 草薙 裕 工業図書

情報ネットワークが会社を変える 式場 英
有斐閣
人工知能はどこまで進むか 野崎昭弘 岩波書店
ネットワーク組織論 今井賢一／金子郁容
岩波書店
自然言語処理入門 西田豊明 オーム社

経済学部

吾郷健二<世界経済論>

第三世界論への視座 吾郷健二 世界書院
石油と原子力に未来はあるか 樋田 敦
亜紀書房
経済人類学 栗本慎一郎 東洋経済新報社
資本主義と南北問題 本多健吉 新評論
鎖国の経済学 大崎正治 JICC出版
＜発展途上国経済論＞
ラテンアメリカと国際関係 西向嘉昭 晃洋書房
南北問題の現代的構造 本多健吉 日本評論社
第三世界の人口移動と都市化 柴田／加納
アジア経済研究所
国際労働力移動 森田桐郎 東大出版会
アフリカ経済論 犬飼一郎 大明堂

古川卓萬<財政学総論>

財政再建の研究 宮島 洋 有斐閣
日本の税制 和田八東 有斐閣
21世紀を展望した税制改革 橋本 徹
税務経理協会
直接税改革 八田達夫 日本経済新聞社
＜演習II>＜地方財政論＞
土地問題総点検 本間義人 有斐閣
現代税制の経済学 J. A. ケイ／M. A. キング
東洋経済新報社
地方の経済学 安東誠一 日本経済新聞社
財政再建と税制改革 水野正一
名古屋大学出版会

伊藤治夫<資源貿易論>

OPEC危機の構造 伊藤治夫 同友館
＜演習I＞
資源貿易の経済学 山澤逸平／池間 誠 文眞堂

松原 宏<経済地理>

日本列島経済地図 日本地域経済研究所
日本経済新聞社
構造調整の進展する地域経済 経済企画庁
大蔵省印刷局

経済地理学 川島哲郎 朝倉書店
地域経済分析 高阪宏行 高文堂出版社
経済地理学 山名伸作 同文館
＜演習I＞
世界の地域開発 石原照敏（他） 朝倉書店
イギリスの産業立地と地域政策 伊藤喜栄（他）
ミネルヴァ書房
世界の都市システム 山口岳志 古今書院
世界の大都市 1. ロンドン・4. ニューヨーク
大阪市大経研 東大出版会

仲澤幸壽<経済原論A>

近代経済学 新飯田 宏（他） 有斐閣
入門価格理論 倉沢資成 日本評論社
マクロ経済学 新開陽一 東洋経済新報社
エコノミックス入門 バウモル・ブラインダー
HBJ出版局
入門経済学 岩田規久男 東洋経済新報社
＜厚生経済学＞
公共経済学 柴田弘文／柴田愛子
東洋経済新報社
公共経済 奥野信宏 東洋経済新報社
ミクロ経済学 I・II 奥野正寛／鈴木興太郎
岩波書店
厚生経済学と社会選択論 フェルドマン
マグローヒル
公共選択 小林良彰 東京大学出版会

横川和男<国際経済学>

国際経済学 小野 浩 マグローヒル
経済統計年報 1988年版 日本銀行統計局
日本信用調査
外国経済統計年報 日本銀行統計局
日本信用調査

吉岡慎一<社会保障論>

テキストブック社会保障論 地生／西村 有斐閣
厚生統計要覧 厚生統計協会
厚生統計テキストブック 厚生統計協会
社会保障統計年報 社会保険法規研究会
社会保障年鑑 東洋経済新報社
＜外書講読I＞
A Primer in Data Reduction A. S. Ehrenberg
John Wiley & Sons
＜演習I＞
不平等を生み出すもの L. サロー 同文館
ゼロ・サム社会 L. サロー TBSブリタニカ

財政学 貝塚啓明 東大出版会
 財政再建の研究 有斐閣
 <演習Ⅱ>
 国民生活白書 大蔵省印刷局
 厚生白書 厚生統計協会
 イギリスの社会保障 東大出版会
 ハードヘッド ソフトハート A. ブライダー
 TBSブリタニカ

法 学 部

蓮 井 良 憲<商法Ⅱ>

新版注釈会社法(9)・(10) 有斐閣
 注解会社法 上巻・下巻 戸田(他) 青林書院
 証券取引法(新版) 神崎克郎 青林書院

今 井 威<憲 法>

憲法と政治機構 小嶋和司 木鐸社
 憲法Ⅱ 基本的人権 佐藤幸治 成文堂

河 島 幸 夫<政治思想史>

政治哲学序説 南原 繁 岩波書店
 宗教改革時代のイギリス政治思想 C. モリス
 刀水書店
 伝統と啓蒙 成瀬 治 法政大出版局
 平和のハトとリヴァイアサン 宮田光雄
 岩波書店

ヴァイマル共和国の政治思想 宮田光雄 創文社
 <政治学原論>

国と社会 猪口 孝 東大出版会
 政治学入門 中山政夫(他) 北樹出版
 政治と人間と民主主義 徳本正彦 法律文化社
 人類の良心—平和の思想 森田俊男 平和文化
 デモクラシーと抵抗権 堀 豊彦 東大出版会

<演 習>

20世紀国際政治史 福田茂夫(他) 名古屋大出版会
 教養市民層からナチズムへ 野田宣雄
 名古屋大出版会

ヒトラーと第三帝国 ヒルデブランド 南窓社
 賀川豊彦の生涯と思想 河島幸夫 中川書店
 賀川豊彦写真集 刊行会 東京堂出版

古 賀 衛<国際法Ⅰ>

ブラウンリー国際法 I. ブラウンリー 成文堂
 国際法資料集(第4版) I~V巻 大沼保昭
 東信堂

国際法 山本草二 有斐閣
 国際法講義(上・下) 田畑茂二郎 有信堂
 国際法概論(上・下) 高野雄一 弘文堂
 <国際法Ⅱ>
 ブラウンリー国際法 I. ブラウンリー 成文堂
 国際法資料集(第4版) I~V巻 大沼保昭
 東信堂
 ケースブック国際法 田畑茂二郎 有信堂高文社
 基本判例双書:国際法 宮崎繁樹 同文館
 国際司法裁判所 高野雄一 東大出版会

小 山 雅 亀<刑法Ⅱ>

刑法各論 中山研一 成文堂
 刑法概説(各論) 大塚 仁 有斐閣
 演習刑法各論 福田 平/大塚 仁 青林書院新社
 法学ガイド 刑法Ⅱ(各論) 内田文昭
 日本評論社
 刑事訴訟法(二訂版) 高田卓爾 青林書院新社
 <基礎演習>
 刑事訴訟法 鈴木茂嗣 青林書院新社
 ホンブック刑事訴訟法 田宮 裕 北樹出版
 ホンブック犯罪学 菊田幸一 北樹出版
 刑事訴訟法を学ぶ 松尾浩也/鈴木茂嗣 有斐閣
 民事訴訟法を学ぶ 竹下守夫/谷口安平 有斐閣

中 森 宏<民事訴訟法Ⅰ>

口述民事訴訟法 谷口安平 成文堂
 民事の訴訟 福永/井上 筑摩書房
 民事訴訟法 上田徹一郎 法学書院
 民事訴訟法の争点(新版) 三ヶ月/青山 有斐閣
 民事訴訟法(入門法学全集) 小室直人 日本評論社
 <民事訴訟法Ⅱ><破産法>
 破産法 伊藤 眞 有斐閣
 民事執行法(上・下) 中野貞一郎 青林書院
 新版民事訴訟法演習(1)・(2) 三ヶ月(他) 有斐閣
 演習民事訴訟法(1)・(2) 新堂(他) 有斐閣

野 村 修 也<商法概論>

取引と企業の法 龍田 節 日本放送出版協会
 商法を学ぶ(新版) 谷川 久/龍田 節 有斐閣

小田島 真千枝<民法A>

民法読本1 総則・物権法 好見清光/米倉明 有斐閣
 民法(1)・(2)・(3)(第3版) 遠藤 浩(他) 有斐閣
 目で見る民法教材 淡路剛久(他) 有斐閣
 <民法Ⅰ><民法Ⅱ>
 目で見る民法教材 淡路剛久(他) 有斐閣

民法概論 I・II 星野英一 良書普及会
民法(1)・(2)・(3) (第3版) 遠藤 浩(他) 有斐閣

関 口 正 司<政治学原論>

政治学講義(上・下) 升味準之輔 岩波書店
日本の政治史(全4巻) 升味準之輔 東大出版会
政治学への道案内 高島通敏 三一書房
ヨーロッパの政治 篠原 一 東大出版会
＜演習＞
自由の構造 クリスチャン・ベイ 法政大出版局
自由 M・克蘭ストン 岩波書店
自由論 I. パーリン みすず書房
個人主義と自由主義 ルークス/プラムナッツ 平凡社
自由と陶冶 関口正司 みすず書房

高 橋 文 彦<法哲学>

法思想史(Sシリーズ) 田中成明(他) 有斐閣
新版法哲学概論(全訂第二版) 碧海純一 弘文堂

高 橋 貞 夫<労使関係法I>

注釈労働組合法(上・下) 東大労働法研究会 有斐閣
労働法(第二版) 菅野和夫 弘文堂
注釈労働組合法・労働関係調整法 中山和久(他) 有斐閣
団結権侵害とその救済 外尾健一 有斐閣
不当労働行為の法理 外尾健一 有斐閣
＜労使関係法II＞
増補改正労働基準法 平賀俊行 日本労働協会
労働法学の理論と課題 前田達男(他) 有斐閣
労働契約の研究 岸井貞男(他) 法律文化社
社会法の理論的課題 荒木誠之 法律文化社
現代の生存権 深山喜一郎(他) 法律文化社
＜演習＞
変容する労働時間制度 山口浩一郎(他) 日本労働協会
国際化と労使関係 岡本秀昭 総合労働研究所
不当労働行為救済の法理論 道幸哲也 有斐閣
不当労働行為と労働委員会制度の研究 大和哲夫 第一法規
アメリカの労使関係 日本労働協会 日本労働協会

田 村 茂 夫<商法I>

約款規制の法理 河上正二 有斐閣
商行為法 平出慶道 青林書院
商法III(商行為法) 平出慶道 青林書院

企業法判例の展開 法律文化社

＜商法II＞

会社法(新版) 北沢正啓 青林書院
新版商法II(会社法) 神崎克郎 青林書院
会社法(新版) 鈴木/竹内 有斐閣
会社法の諸問題I 鴻 常夫 有斐閣
証券取引の法理 神崎克郎 商事法務研究会

＜演習＞

演習商法(総則・商行為法) 鴻 常夫(他) 青林書院
演習商法(会社) 上・中・下 鴻 常夫(他) 青林書院
演習商法(手形・小切手) 鴻 常夫(他) 青林書院

田 辺 康 平<商法III>

現代手形法・小切手法 田辺康平 文眞堂
最新手形法・小切手法 田邊光政 中央経済社
手形・小切手法要説 加藤勝郎/大沢 功 青林書院
手形・小切手法(基本法学双書) 堀口 亘(他) 青林書院

＜商法IV＞

事故と保険の構造 吉川吉衛 同文館
損害保険契約法改正試案、傷害保険契約法新説試案 保険法制研究会 損害保険事業研究所
自動車保険約款集 損害保険事業研究所
火災保険普通保険約款集 損害保険事業研究所

横 田 守 弘<憲 法>

憲法にこだわる 奥平康弘 日本評論社
解説世界憲法集 樋口陽一/吉田善明 三省堂
憲法30講 中村睦男 青林書院
プレップ憲法 戸松秀典 弘文堂
体罰と子どもの人権 村上義雄(他) 有斐閣
＜憲法I＞
憲法講義ノート 芦部信喜 有斐閣
憲法I 総論、統治機構 佐藤幸治 成文堂
憲法I 憲法総論 杉原泰雄 有斐閣
比較憲法(改訂版) 樋口陽一 青林書院
別冊ジュリスト 憲法判例百選I・II(第2版) 有斐閣

＜外書講読I＞

西ドイツ法入門 村上淳一/H. P. マルチュケ 有斐閣
ドイツ憲法小史 小林孝輔 学陽書房
西ドイツ憲法綱要 コンラード・ヘッセ 日本評論社
ドイツ現代史 成瀬(他) 山川出版社
比較のなかの日本国憲法 樋口陽一 岩波書店

＜基礎演習＞

ルポルタージュ日本国憲法 工藤 宜 有斐閣
 刑事裁判の光と陰 大野正男／渡部保夫 有斐閣
 民事の訴訟 福永有利／井上治典 筑摩書房
 この国の奥深く一法を撃つ人びと 鎌田 慧
 日本評論社
 判例法学 西村(他) 有斐閣

＜演 習＞

現代国家と司法権 佐藤幸治 有斐閣
 憲法と裁判 樋口陽一／栗城壽夫 法律文化社
 司法のあり方と人権 芦部信喜 東大出版会
 演習憲法 芦部信喜(他) 青林書院
 講座憲法訴訟1～3 芦部信喜 有斐閣